

皆様こんにちは。日頃より特定非営利活動法人フェザードフレンドの活動にご協力を賜り、ありがとうございます。フェザードフレンド通信は、当会の活動についてお伝えしていきます。第2号は、先日開催されましたバードハウス展示会&講演会についての御報告を中心にお知らせします。

バードハウス展示会&講演会「バードハウスの世界」を開催しました

■ バードハウス展示会

平成18年9月20日(水)~30日(土)にかけ、帯広市図書館を会場にバードハウス展示会を開催しました。今回展示したのは、北海道東海大学の織田憲嗣教授が所蔵する世界のバードハウス、バードフィーダー約90点と蔵書130点、美瑛町在住の工芸家山口裕さん製作のバードハウス9点、フェザードフレンド会員の作品10点などです。展示会は開催初日より大勢の方が訪れてくださいました。



訪れた方々は、バードハウスの自由なデザインや素材に驚かれ、「かわいい」、「楽しい」といった感想を述べられていました。「自分でも作

ってみたい」、「作り方を教えて欲しい」との質問には、当会会員が自身の製作話を交えながら説明しました。また、道東自動車道サービスエリアに設置され、実際に営巣に利用されたバードハウスも展示され、「野鳥が利用できるの?」と疑問をもたれた方も実物を見て疑問を解消されていました。当会の活動に興味を抱かれた方も多く、展示されていたバードハウスにすてきなツールペイントを描いてくださった方もおりました。また、「製作会があれば参加してみたい」、「販売していないのか」といったご質問、ご要望もあり、これらの声に応えるべく、当会の活動もより活発に行っていきたいと思っております。



■ 講演会「羽根のある友達」

平成18年9月24日(日)帯広市図書館にて、日本におけるバードハウス研究の第一人者である井筒明夫先生、北海道東海大学の織田憲嗣教授、帯広畜産大学の柳川久助教授によるバードハウス講演会が開催されました。



井筒明夫先生

井筒先生は世界のバードハウスの事例について、その発祥から文化まで広く講演され、特に日本において「野鳥を『保護する』のではなく、野鳥と友達になろう(=フェザードフレンド)」という文化を発信し広げていく重要性を説かれました。バードハウスを通して野鳥と友達になることで心を豊かにしようというご意見は、家族の絆や他人を思いやる気持ちが希薄になったと言われる現代において本当に大切なことだと感じました。



織田憲嗣先生



柳川久先生

織田先生は「バードハウスを表札代わりにして各家の前に置こう」という、バードハウスを利用したまちづくりについて講演されました。また、柳川先生は十勝において樹洞を利用する哺乳類、野鳥の生態について語られ、コウモリ類のバードハウス(バットボックス)など、まず作ってみて、そして動物達に試してもらおうと呼びかけられました。

講演会の2時間はあっという間に過ぎてしまいました。参加された方々からは「わかりやすく面白かった」、「自分の家にも鳥たちを招きたい」といった感想が聞かれました。講演会にお越しくくださった方々から、フェザードフレンドの輪が広がっていけばと思います。

ボランティアで講演を引き受けてくださいました先生方をはじめ、会場にお越しくくださった皆様、会場を提供してくださいました帯広市図書館の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

「バードハウスの世界」開催に当たり、帯広市様、帯広畜産大学地域共同研究センター様、東日本高速道路(株)北海道支社帯広工事事務所様、北海道電力(株)帯広支店・新得水力センター様、北海道道路サービス(株)様、(株)ティーケーコーポレーション様、北海道新聞帯広支社様、十勝毎日新聞社様のご後援を賜りました。この場を借りて、御礼申し上げます。

その他の活動について

■ 川に親しむ自然観察会を開催しました

NPO 法人フェザードフレンドはバードハウスを根幹に様々な活動を行っておりますが、野鳥にとっても重要な水辺の環境を知ることと、野鳥を含め広く自然を愛する心を育むために、「川に親しむ自然観察会」を行っています。

8月24日(木)に帯広市内を流れる売買川親水公園にて、中札内村立中札内小学校2年生の皆さんと川の自然観察会を行いました。当日はあいにくのくもり空でしたが、気温、水温とも高く、子供たちは川に入っても元気いっぱいでした。



当会メンバーの指導のもと、川の中の石をめくってはヒラタカゲロウなどの水生昆虫やフクドジョウ、ハナカジカなどの魚を採取・観察し、たくさんの魚や虫たちが川に棲んでいることにびっくりしていました。「虫に触るのは怖い」と言っていた子供たちも実際に触ってみると「やわらかくて面白い」などと笑って答えていました。特に魚は大人気で、「あっちへいったぞ!」、「たくさん捕れた」と網を持って大騒ぎで追いかけていました。

川から上がると、採取した虫をスケッチ。虫眼鏡で拡大すると、その姿にビックリしていましたが、それぞれの虫の特徴をよくとらえてスケッチを完成させました。パックテストを用いた水質検査では、試薬の色が変わるごとに「わーっ!」と歓声をあげ、熱心にチェックしていました。

見つけた生き物と検査結果から売買川の水はきれいであることを知ると「よかったー」と感想を述べ、身近な川的环境に関心をもつとともに、川で遊ぶ楽しさも感じてもらったのではないかと思います。



観察会の開催にあたり、北海道開発局帯広開発建設部治水課様のご協力を賜りました。厚く御礼申し上げます。

翼を持つ 友人たちとともに

このコーナーでは、フェザードフレンドの活動に対し、貴重なご指導、アドバイスを下さる方々のご紹介をしていきます。

織田 憲嗣さん
(東神楽町)

北海道東海大学芸術工学部
くらしデザイン学科 教授



織田先生の御自宅は旭川空港から2分の立地、白樺の林に囲まれた小高い丘の上にあります。空港の近所にも関わらず、野鳥の囀り以外は物音一つ聞こえない静寂さ、開発の進む北海道の中でクマゲラなどの野鳥、エゾリス、キタキツネなど小動物たちの為のプライベート・サンクチュアリです。

織田先生はグラフィックデザイナーとして毎日広告賞など数々の賞を受賞するとともに、世界でも有数の椅子のコレクター・研究家としても知られています。特に「椅子の詩人」と評される、デンマークのデザイナー、ハンス・ウエグナーの研究家として著名で、先生のウエグナー・コレクションは世界一とも言われています。

椅子と暮らすために建てられた邸宅には、千数百本のコレクションの中から選ばれた、デンマーク、スウェーデンなど北欧の椅子が使用されています。そして、それら著名なデザイナー達の椅子や家具と同じ空間に、世界中の数々のバードハウスが配置され、一つの風景を形成しています。



また、邸宅の広い庭にも、たくさんのバードハウスやバードフィーダーが配置され、野鳥たちが絶え間なく訪れています。その愛らしい姿を、大きなガラス張りの部屋から眺めていると、時間が経つのを忘れてしまいそうです。



フェザードフレンド通信 平成18年10月発行(002号)

編集・発行 特定非営利活動法人フェザードフレンド

〒080-0010 北海道帯広市大通南27丁目7 TEL・FAX 0155-22-7002

HP http://www.geocities.jp/feathered_friend_2005/

E-mail ff_obihiro@ybb.ne.jp